



五中だより

令和 8 年 1 月 8 日
小平市立小平第五中学校
校長 伊藤 克行
小平市小川町 1 - 7 9 8

学校評価アンケートについて

校長 伊藤 克行

新しい年が明けました。保護者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。いよいよ今年度の締めくくりとなる3学期が始まりました。

さて、先般実施いたしました「学校評価アンケート」では、ご多忙の中、224名もの保護者の皆様にご回答をいただきました。多くの温かい励ましのお言葉、そして本校の教育に対する貴重なご提言を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

集計結果を拝見し、「学校は生徒にとって安心・安全できる場所である」という項目で最も高い評価（肯定的回答率 約93%）をいただけたことを、大変嬉しく思います。また、部活動や日々の生活指導において、教職員が子どもたち一人ひとりに寄り添っている姿勢をご評価いただけたことは、我々教職員にとって何よりの励みとなります。

一方で、真摯に受け止めなければならない課題もありました。

「学習状況の評価・評定」や「学習者用端末（クロームブック）の活用」については、ご家庭から不安や改善を求める声を多数いただいております。「評価基準が分かりにくい」「端末の持ち帰りによる生活リズムへの影響」といった具体的なご指摘は、まさに学校が今、向き合うべき点であると痛感しております。また、制服や防寒具などの「きまり（校則）」につきましても、「時代の変化や気候に合わせた柔軟な対応」を求める声をいただきました。

これらの結果を受け、3学期は以下の点に重点を置いて取り組んでまいります。

1. 評価・評定の透明化と授業改善

「何をどう頑張ればよいのか」が子どもたちに明確に伝わるよう、各教科担当が授業内で評価・評定の説明責任を果たすよう再度周知徹底します。また、引き続き基礎学力の定着と主体的に学ぶ力をつけられるよう授業改善を進めます。

2. ICT活用のルールの再確認

学習効果を高めつつ、健康面にも配慮した端末の適切な利用方法について、学校として再度指導します。併せてネットリテラシーの育成にはご家庭の協力は不可欠です。都立高校では深夜等の端末時間制限も、フィルタリングも行っていません。「使ってはいけないではなく」「どう使いこなすか」を中学校時代に多くの生徒が自分でコントロールできるようご家庭と協力して指導していきます。

3. 対話を重視した学校づくり

校則や行事の在り方について、生徒の主体性や健康・安全を第一に考え、説明不足にならないよう丁寧な発信と見直しを引き続き行ってまいります。なお、校則について次年度改定予定の内容と、自由記述欄にいただいたご意見への回答について次ページに記載します。

校則改定

無地紺ポロシャツ（指定なし）の着用

女子生徒の透け防止等の観点から、令和8年度より無地紺ポロシャツ（指定なし）の着用を許可します。暑熱対策の一環としてポロシャツ着用時のシャツ出しは可とします。これまで夏季に透け防止のため女子生徒が多く着用していたベストは引き続き着用は可能ですが、新たな購入はご検討ください。

頂戴致しましたご意見への回答

防寒着としてダウンウェアの着用について

防寒着については今のところダウンなどの着用を認めることは考えておりません。ダウンなどを防寒着として認めてしまうとデザインや色も多岐にわたり、ダウンの下に制服や学校ジャージを着用していても私服との判別が難しく、登下校中かどうかの判断ができません。

小学校と異なり、下校時間が遅くなったり、下校後のそれぞれの生徒の活動が塾に行くなど様々です。生徒がきちんと下校し、ご家庭の責任で行動している時間と学校が把握している時間を分けることは生徒の安全管理上大切なことです。申し訳ありませんが、ご理解とご協力をお願いします。

3年生はいよいよ進路決定という大きな節目を迎えます。1・2年生は進級に向けた準備期間です。いただいたご意見を糧に、「五中に通わせてよかった」と心から思っていただけの学校を目指し、教職員一同、全力で教育活動に邁進してまいります。

本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

12月の教育活動のようす

12月も各学年・学級で生徒が前向きに学習に取り組む姿が見られました。一部ではありますが、以下にご紹介します。

五中校区 児童会・生徒会サミット

6月に開催された小平市の児童会・生徒会サミットで決まった五中校区の評語「コゲラもみんなも 笑顔であいさつ仲良しなまち」を受けて、オンラインで4校をつなぎ、各学校でこれまでに行ってきた取組を紹介し、来年度の児童会・生徒会サミットへ向けての取組みについて話しました。

五中の生徒会役員が五中全体で取り組んできたことをスライドにまとめて分かりやすく説明し、それぞれの小学校の取組みについても質問しながら考えや思いを引き出すなど、上手に進行しました。

各小学校では4月に新しい児童会が発足しますが、五中の場合は次の生徒会役員選挙が行われる9月まで現在の生徒会役員が継続して役員を務め、引き続き活動目標へ向けて取り組みます。今回のサミットの内容をいかして、残り9か月の取組みを進めていってほしいと思います。



1 学年 「性の多様性」講演会



12月19日に「性の多様性講演会」を行い、1学年と8組の生徒が参加しました。講師の鈴木茂義さんからは、世の中にはさまざまな性自認の方がいることや、そうした人々がどのようなことを感じているかなどについてお話がありました。

生徒からは「心と身体の性が合っていない人がいると知った」「いろいろな考え方があると知れてよかった」など多様性を踏まえた感想が聞かれました。

2 学年 いのちの授業



12月23日に2学年で「いのちの授業」を行いました。当日は助産師の方に来ていただき、男女分かれて性に関する授業を受けました。小学校でも習う二次性徴のことから命の誕生まで、丁寧にお話しいただき、生徒は興味深く話を聞いていました。

性に関する正しい知識をもつこと、互いを大切にすることについて、あらためて考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

3 学年 進路

3年生は既に受験シーズンに突入していますので、その様子をお伝えします。

- ・12月上旬 三者面談 ここで進路希望の最終確認を行いました。
- ・12月中旬 入試相談 五中が進学を希望する生徒について私立高校と相談しました。
- ・1月上旬 都立高校の推薦入試の出願が始まります。
- ・1月下旬 都立高校の推薦入試が行われます。

※8組については都立特別支援学校等の入試が既に始まっています。

お子さんが今後初めて受験生になるご家庭もあるかと思います。1年後、2年後にはこのようなスケジュールで進路が決定していくのだとイメージしていただけるとよいです。

8 組 五中校区 小中交流会



12月12日に校区の小平第一小学校の若竹学級、小平第十二小のけやき学級の児童が五中に訪れ、8組の生徒と小中交流会を行いました。

2年生が主体となって、司会や挨拶、誘導などの係を務めました。各学校の児童生徒の自己紹介に始まり、楽器演奏やダンス、合唱などの発表を行いました。8組の生徒が披露した合唱は迫力があって、小学生が圧倒されていました。